

第七回 一般社団法人 エッジプラットフォームコンソーシアム(EPFC) 定時社員総会議案書

開催日時： 2025 年 6 月 19 日(木) 14:00～15:00

開催場所： 神奈川県川崎市幸区大宮町 1 3 1 0

ミューザ川崎シンフォニーホール 4 階／会議室 2

開催方法：Zoom によるハイブリット参加型バーチャル総会

議決権行使方法：電磁的方法(メール等)による議決権行使

目的事項

議案：

<審議事項>

第一号議案 2024 年度活動報告書(案)の承認の件

第二号議案 2024 年度決算報告書(案)、監査報告の承認の件

第三号議案 清算結了時決算報告書(案)、監査報告の承認の件

<その他>

結了後の対応

2025 年 6 月 19 日(木)

神奈川県横浜市旭区若葉台一丁目 11 番 904 号

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム



第一号議案 2024 年度活動報告書(案)の承認の件

2024 年度活動報告書(案)

一般社団法人の現況に関する事項

1. 事業の経過およびその成果

2024 年の世界経済はウクライナ問題が継続、中東情勢の緊迫化と米中貿易摩擦などの地政学的なリスクが継続し、各国の経済政策の動向に注意が必要な状況が継続しているものの、底堅く推移してきましたが、米国のトランプ大統領の再登場とともに不確実な状況が増えてきました。

一方、我々が関係しているエレクトロニクスに関連した産業分野においては、パソコン、スマホの需要は今一つ盛り上がりを見せていませんが、生成 AI の活用に向けたデータセンター等の IT インフラの拡大は継続しており、全体としてはゆっくりと成長していると見えます。一方、IoT、DX などのデジタル社会への進展と 2050 年のカーボンニュートラルに向けたグリーンイノベーション(GX)の加速により、長期的には需要の拡大は続き、さらに経済安全保障の観点から国内生産を見直すという国家的な施策により、我々の産業は今後も高成長が期待されています。特に、わが国ではこの DX を推進する新しいテクノロジーとしてエッジ・システムが注目されていることには変化はありません。

こういった中で、私ども一般社団法人「エッジプラットフォームコンソーシアム(EPFC)」は、SIP フィジカルが開発した誰でも簡単、短期間、安価に構築できるエッジプラットフォームを会員企業の皆様に展開して、中小、ベンチャー企業で導入の障壁となっていたコスト・パフォーマンスの課題の解消を目指して活動して参りました。また、組織としての安定化を図るために、勧誘活動による会員数の増加を計画しましたが、計画通りに増加しませんでした。また、シンポジウムを開催して SIP フィジカルの成果の橋渡しを議論しました。また、ワーキンググループによる活動の活発化と会員の皆様に役に立つ情報を提供することに全力を挙げて参りました。

しかし、実証実験(PoC)地獄からの脱却ができず、国プロなどによる費用負担の少ない実証実験には比較的容易に参加して頂けるが、実際に自己負担で現場にシステムを導入する段階になると、費用対効果の議論が前面に出て、踏み切る企業がほとんどいない状態となってしまいました。結果として、エッジプラットフォームの社会実装という面では大幅に遅れが発生してしまいました。財政的に非常に厳しい状況が継続し、収支的には会費収入の減による影響を経費などの出費を極力抑えることにより、単年度の正味財産残高はかろうじて黒字とし、累積した期末正味財産残高も赤字から若干の黒字とすることができました。一方、会員規模は昨年の 60 会員から 48 会員(2025 年 3 月 31 日現在まで、減少しました。その結果、EPFC としての活動を継続するには、非常に困難な状況であることを認識して、今期いっばいで EPFC の活動を断腸の思いで決断し、期末の臨時社員総会にて、一般社団法人としての解散を決議致しました。

2. 組織体制

① 会員と組織の状況

分類	内容
会員数	48 機関
正会員	33 社
大企業	9 社
中小企業	20 社
個人	3 名
特別会員	1 社
賛助会員	15 機関
理事・監事	理事 10 名、監事 1 名
アドバイザー・ボード	4 名
運営委員	運営委員 6 名、監事 1 名
事務局	事務局長 + 事務局員 5 名 (6/30 で 2 名退職)
ワーキンググループ	5 テーマ・グループ、参加者数:21 名 (延 35 名)
普及推進部会	廃止

② 理事会体制

役職名	氏名	所属
理事長(代表理事)	益 一哉	東京科学大学 学長 (9月より産総研)
常務理事(事務局長)	齋藤 昇三	株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター
常務理事(運営委員長)	岡山 義光	産学連携機構九州 My-IoT 事業企画センター副センター長
理事	阿部 光一	アルプスアルパイン株式会社 第4ソフト技術部 主幹
理事	桑田 薫	東京科学大学 理事
理事	西 宏章	慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科教授
理事	二宮 良次	東芝デバイス&ストレージ株式会社
理事	井上 弘士	九州大学大学院システム情報科学研究院 教授
理事	大川 真史	ウイングアーク1st 株式会社 エヴァンジェリスト
理事	大貫 崇	日本電気株式会社プラットフォーム・テクノロジーサービス事業部門 上席プロフェッショナル
監事	周藤 智	STO 法律事務所 弁護士

③ 運営委員会体制

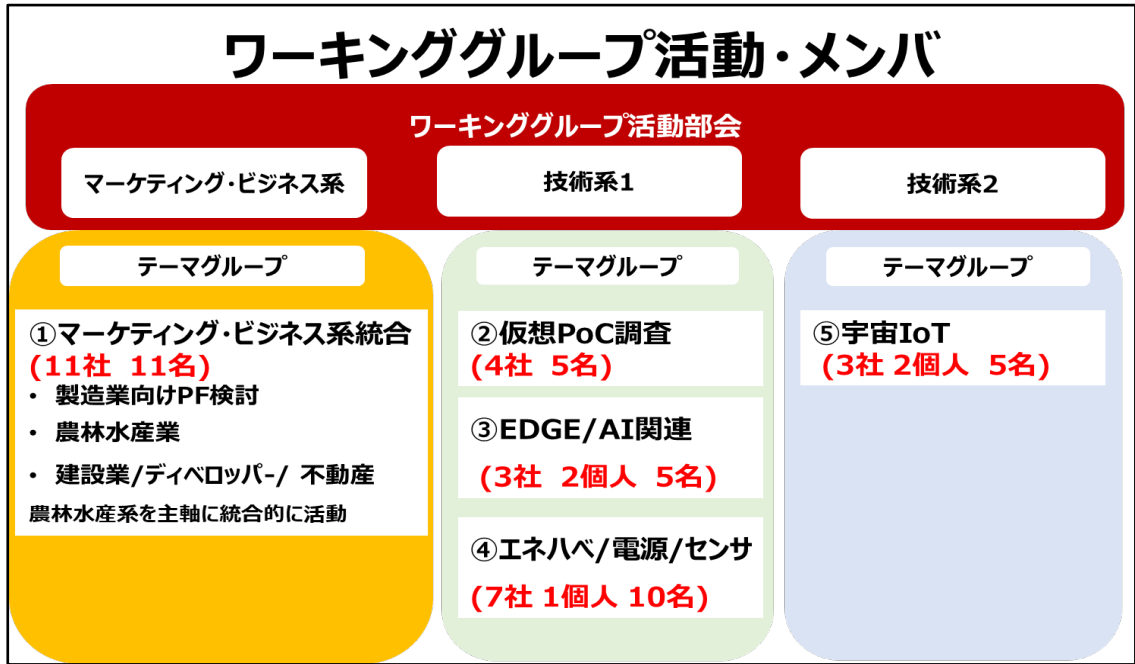
役職名	氏名	所属
委員長	岡山 義光	常務理事
副委員長	齋藤 昇三	常務理事/事務局長
委員	吉森 崇	WG リーダー/個人会員
委員	井上 弘士	理事/九州大学大学院システム情報科学研究院 教授
委員	前田 真	株式会社産学連携機構九州 代表取締役社長
委員	大川 真史	理事/ウイングアーク1st 株式会社 エヴァンジェリスト
監事	周藤 智	STO 法律事務所 弁護士

④ 事務局体制

役職名	氏名	所属
事務局長	齋藤 昇三	EPFC 常務理事 (EPFC と業務委託契約(7/1~))
事務局	岡山 義光	EPFC 常務理事 (EPFC と業務委託契約(7/1~))
事務局	勝村 英則	合同会社 かけクリエイト (EPFC と業務委託契約 (4/1~))
事務局(6/30 まで)	福永 健二	デバイス&システム・プラットフォーム開発センター
事務局	吉森 崇	個人会員 (EPFC と業務委託契約(4/1~))
事務局(6/30 まで)	笠井 邦弘	(株)東芝
事務局	二宮 良次	東芝デバイス&ストレージ株式会社
事務局	浜田 悦子	個人 (EPFC 業務委託契約(7/1~))

⑤ ワーキンググループ

赤字 WG 在席メンバ数 :21 名 延べ:36 名



3. 主な事業所

事務所所在地 神奈川県川崎市堀川町 580 番地 ソリッドスクエア東館 10 階
(2024 年 6 月より) 神奈川県横浜市旭区若葉台 1-11-904

4. 資金収支と財産の状況

経常収益としては会費収入と業務受託収入により計 8,311,335 円となり、経常経費は計 6,103,455 円と圧縮することで、今期の一般正味財産は 2,207,880 円増となり、期末の一般正味財産残高は前期のマイナス分を解消できて、511,914 円となった。

■ 収入

勘定科目	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/上	2024年度		
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	上期合計	予算	差異
5001 会費大企業	1,200,000	600,000	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000	3,000,000	-1,200,000
5002 会費中小企業	640,000	120,000	80,000	0	0	0	840,000	840,000	1,200,000	-360,000
5004 会費個人	20,000	10,000	0	0	0	0	30,000	30,000	50,000	-20,000
5006 特別会員	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0
5010 事業収入ｼﾝﾎﾞｼﾞｳﾑ	0	0	0	0	0	0	0	0	140,000	-140,000
5011 ｳｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ	135,000	90,000	10,000	0	0	0	235,000	235,000	500,000	-265,000
5012 広告収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5013 推進普及部会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5018 講習会	0	0	66,000	0	0	0	66,000	66,000	300,000	-234,000
8110 受取利息(営業外)	0	0	0	0	209	0	209	209	24	185
8190 雑収入 (営業外)	0	100	0	0	0	0	100	100	0	100
小計	4,995,000	820,100	156,000	0	209	0	5,971,309	5,971,309	8,190,024	-2,218,715
実績(累計)	4,995,000	5,815,100	5,971,100	5,971,100	5,971,309	5,971,309				

■ 収入

勘定科目	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	2024/下	2024年度		
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予算	差異
5001 会費大企業	0	0	0	0	0	0	0	1,800,000	3,000,000	-1,200,000
5002 会費中小企業	0	0	0	0	0	0	0	840,000	1,200,000	-360,000
5004 会費個人	0	0	0	0	0	0	0	30,000	50,000	-20,000
5006 特別会員	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000	0
5010 事業収入ｼﾝﾎﾞｼﾞｳﾑ	0	0	0	0	0	0	0	0	140,000	-140,000
5011 ｳｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ	0	0	0	0	0	0	0	235,000	500,000	-265,000
5012 業務受託収入	0	0	1,760,000	0	0	440,000	2,200,000	2,200,000	0	2,200,000
9191 受贈益	0	0	0	0	0	139,377	139,377	139,377	0	139,377
5018 講習会	0	0	0	0	0	0	0	66,000	300,000	-234,000
8110 受取利息(営業外)	0	0	0	0	749	0	749	958	24	934
8190 雑収入 (営業外)	0	0	0	0	0	-100	-100	0	0	0
小計	0	0	1,760,000	0	749	579,277	2,340,026	8,311,335	8,190,024	121,311
実績(累計)	5,971,309	5,971,309	7,731,309	7,731,309	7,732,058	8,311,335				

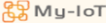
■費用										
科目	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/上	2024年度		
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	上期合計	予算	差異
7700 (管)事務業務費	66,000	66,000	396,000	176,000	176,000	176,000	1,056,000	1,056,000	2,730,000	-1,674,000
7706 (管)支払謝礼金	50,000	122,210	122,210	50,000	142,841	50,000	537,261	537,261	1,100,000	-562,739
7712 (管)会計監査費	11,000	11,000	77,000	16,500	16,500	16,500	148,500	148,500	300,000	-151,500
7701 (管)通信費	36,766	0	0	29,040	3,982	990	70,778	70,778	46,000	24,778
7704 (管)支払手数料	2,400	820	2,400	2,520	1,7502	2,510	12,400	10,440	9,000	1,440
7703 (管)会場整備費	0	4,400	19,580	0	7,886	0	31,866	31,866	102,000	-70,134
7707 (管)事務用消耗費	0	0	0	0	0	0	0	920	0	920
7709 (管)旅費交通費	0	7,620	7,266	0	8,000	0	22,886	22,886	27,000	-4,114
7714 (管)登記その他	0	0	146,100	500	0	0	146,600	146,600	116,000	30,600
* (管)一般管理費	39,166	12,840	175,346	32,060	21,618	3,500	284,530	283,490	300,000	-16,510
7753 (事)会場整備費	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	-150,000
7756 (事)支払謝礼金	0	0	0	0	0	0	0	0	44,000	-44,000
7759 (事)旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	-2,000
7754 (事)支払手数料	0	330	330	330	0	330	1,320	990	4,000	-3,010
* (事)事業経費	0	330	330	330	0	330	1,320	990	200,000	-199,010
7765 (事)クラウド運営費	133,410	97,136	101,272	59,173	0	412,500	803,491	803,491	1,600,000	-796,509
7380 租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0		0
9310 法人税等	0	0	0	0	32	0	32	32		32
合計	299,576	309,516	872,158	334,063	356,991	658,830	2,831,134	2,829,764	6,230,000	-3,400,236
実績(累計)	299,576	609,092	1,481,250	1,815,313	2,172,304	2,831,134				
累計正味財産増減高	4,695,424	5,206,008	4,489,850	4,155,787	3,799,005	3,140,175	3,140,175	3,140,175	1,960,024	1,181,521
一般正味財産残高	2,999,458	3,510,042	2,793,884	2,459,821	2,103,039	1,444,209		1,444,209		

■費用										
科目	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	2024/下	2024年度		
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予算	差異
7700 (管)事務業務費	286,000	286,000	286,000	286,000	286,000	286,000	1,716,000	2,772,000	2,730,000	42,000
7706 (管)支払謝礼金	50,000	50,000	91,262	50,000	50,000	111,894	403,156	940,417	1,100,000	-159,583
7712 (管)会計監査費	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	99,000	247,500	300,000	-52,500
7701 (管)通信費	0	0	0	0	0	0	0	70,778	46,000	24,778
7704 (管)支払手数料	2,140	1,810	1,810	2,350	1,810	2,190	12,110	24,510	9,000	15,510
7703 (管)会場整備費	0	0	7,886	0	0	26,966	34,852	66,718	102,000	-35,282
7707 (管)事務用消耗費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7709 (管)旅費交通費	3,086	0	4,000	0	0	17,864	24,950	47,836	27,000	20,836
7714 (管)登記その他	0	0	0	0	0	0	0	146,600	116,000	30,600
* (管)一般管理費	5,226	1,810	13,696	2,350	1,810	47,020	71,912	356,442	300,000	56,442
7753 (事)会場整備費	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	-150,000
7756 (事)支払謝礼金	0	0	0	0	0	0	0	0	44,000	-44,000
7759 (事)旅費交通費	0	0	0	0	0	115,479	115,479	115,479	2,000	113,479
7754 (事)支払手数料	0	0	0	330	0	330	660	1,980	4,000	-2,020
* (事)事業経費	0	0	0	330	0	115,809	116,139	117,459	200,000	-82,541
7765 (事)クラウド運営費	0	0	412,500	0	0	412,500	825,000	1,628,491	1,600,000	28,491
7380 租税公課	0	0	0	0	0	41,000	41,000	41,000		41,000
9310 法人税等	0	0	0	0	114	0	114	146		146
合計	357,726	354,310	819,958	355,180	354,424	1,030,723	3,272,321	6,103,455	6,230,000	-126,545
実績(累計)	3,188,860	3,543,170	4,363,128	4,718,308	5,072,732	6,103,455				
累計正味財産増減高	2,782,449	2,428,139	3,368,181	3,013,001	2,659,326	2,207,880	-932,295	2,207,880	1,960,024	247,856
一般正味財産残高	1,086,483	732,173	1,672,215	1,317,035	963,360	511,914		511,914		

5. 2024 年度に実施した主な活動

① 事務局活動

分類	開催日	回数
理事会	5/25: 第 25 回理事会、6/3: 第 26 回理事会、8/28 : 第 27 回理事会 12/20 : 第 28 回理事会 3/14 : 第 29 回理事会	5 回
社員総会	6/3: 第六回定時社員総会 2025/3/26 : 臨時社員総会	2 回
運営委員会・事務局合同会議	2024/4/13,5/10,6/14,7/5,8/2,9/6,10/4,11/8,12/6, 2025/1/10, 2/14, 3/ 7	12 回
活動報告会	2024/6/3 : 活動報告会 2025/3/26 : 活動報告会	2 回
シンポジウム	2025/3/27 : My-IoT/EPFC 合同シンポジウム	1 回



My-IoT/EPFC 合同シンポジウム

My-IoTで



あなたの新しいビジネスを

日時 2025年3月27日 14:00 - 18:00 (13:30から入場可)です
場所 ミーナ天神ホール1 (福岡県福岡市中央区天神4丁目3-8)
*オンライン参加も可能ですので、お申込み時に選択してください

My-IoTコンソーシアムは、国家プロジェクトである内閣府・戦略的イノベーションプログラム(SIP)第2期(2018年~2023年;九州大学、NEC)での研究開発成果の社会実装を目指して設立されたIoT/DX普及のためのコンソーシアムです。

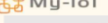
My-IoTコンソーシアムでは、自社の研究開発リソースが少ない中小企業の方々の新事業開発の支援やDX共創の場となるべく活動の幅を広げました。課題を持つ方々と課題を解けるノウハウを持つ事業者が相互に繋がり、実ビジネスを創出していく場を目指して活動していますので、ぜひ皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

また来年度からエッジプラットフォームコンソーシアム(EPFC)の活動をMy-IoTコンソーシアムが引き継ぐことになり、今回は来年度の活動に向けた総括的なシンポジウムを予定しております。

一般の方々も参加可能ですので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



お申し込みはこちら
<https://so02web.zoom.us/join/register?j0W-hvPGTM5kxN49EkNQZA>
my-iot@k-uip.co.jp
お問い合わせはこちら



14:00-15:10 開会ご挨拶 (産学連携機構九州 社長 前田 真)

14:10-14:25 My-IoT 活動のご紹介と今年度の活動報告
My-IoT コンソーシアム 幹事長 井上 弘士
副幹事長 岡山 義光

My-IoT コンソーシアムは、戦略的イノベーションプログラム(SIP)第2期の課題の一つであったフィジカル空間デジタルデータ処理基盤の根幹であるエッジプラットフォーム構築技術であるMy-IoT 開発プラットフォームの社会実装を目的として新たに設立されたコンソーシアムです。My-IoT の活動を通して新たに得られた課題と活動成果について説明いたします。

14:25-14:40 EPFC 活動報告並びに今後の予定について
EPFC 事務局長 齋藤 昇三

エッジプラットフォームコンソーシアム(EPFC)は国プロ「SIP フィジカル」が研究開発した成果を社会実装するために、各企業は実装を実施してきます。今年度実施した結果を報告するとともに、ワーキンググループ中心に行った活動について報告する。また、EPFC の活動は今年度をもって、終了する計画で、今後の予定について説明する。

14:40-15:20 福岡における地域創生 DX 活動
九州大学 副学長 井上 弘士 (My-IoT コンソーシアム幹事長)

本講演では、福岡市ならびに直方市における DX の取組みに関して紹介し、今後の地方創生 DX の方向性について議論する。福岡市からは、福岡市のエンジニアコミュニティ事業の一環である「エンジニアフレンドリーシティ福岡」の活動を紹介します。また、直方市からは、実施している様々な IoT 導入実証実験の状況を共有し、そして最後に、地方自治体を跨いだ連携のあり方や、産学連携の方向性について議論する。

15:20-15:50 招待公演) iFLink x My-IoT によるビジネス共創の可能性
iFLink オープンコミュニティ 理事長 事務局長 千葉 恭平

モジュールの組み立てで IoT がつくられる共創組織「iFLink」IoT の民主化を目指し、根拠を築いて人材・ビジネス・技術が集まり共創が生まれる場「iFLink オープンコミュニティ」創り手と使い手の共創活動から生まれる iFLink 活用プロジェクトや組織 DX・DX 教育等の商用ビジネス事業を通じて、My-IoT と iFLink の今後の共創可能性をお話しします。

15:50-16:00 休憩

16:00-16:30 来年度の My-IoT コンソーシアム活動と DX 人材育成活動
My-IoT コンソーシアム コア&テクメンバー

「My-IoT」の「My」の意義は自分たちが使うシステムは自身の議員のように手に馴染むべきという意味です。来年度はこのコンセプトを押し進め、今まで輸出した中小企業や地域の創出における課題の克服から、社内 DX 推進や社内 IT 人材育成を支える取り組みについて説明します。

16:30-17:30 特別公演) アジャイル・ダイナミック社会を考へてみる
東京科学大学 特別顧問 / 産総研 G-QuAT センター長 杉 一郎

今の時代を捉えて、基礎科学から実用化・社会実装、そしてビジネスさらにイノベーションまでが同時進行している。生成 AI にこのような社会を何と称すれば良いのかと尋ねたら「アジャイル・ダイナミック社会 Agile Dynamic Society」と回答があった。個人的には驚かしている。当時、「Agile Dynamic Society」では、人材育成もますます重要になる。本講演では、東工大(現 Science Tokyo)の様々な取組みや昨今の量子コンピュータ開発を含めて「Agile Dynamic Society」を考えてみたい。





② 運営委員会活動

- EPFC 活動の活性化に向けた運営体制の強化と定着
 - 運営委員：6 名体制で運営
 - 運営委員会毎月開催(2024/4/13,5/10,6/14,7/5,8/2,9/6,10/4,11/8,12/6, 2025/1/10, 2/14, 3/7 計 12 回)
 - 事務局より事務局業務の報告を受ける
 - WG/TG 活動をサポート
- エッジプラットフォームの社会実装に向けた広報活動
 - SIP 第 2 期終了後のフォローアップに係る WEB アンケートに回答(内閣府)
 - 内閣府主催 SIP/BRIDGE フォーラムに出席
- 他の関連団体との連携活動
 - My-IoT コンソーシアムとの連携
 - AIST-Solution とエッジ AI・半導体分野で連携
 - International SparkLink Alliance との連携

③ ワーキンググループ活動報告

- TG1 マーケティング・ビジネス系統合
 - TG Leader J-Mind 上野 淳
 - 2024/下 活動状況

会合	概要
10 月	IOT セキュリティ評価制度:リーダ検査入院で WG 中止
11 月	企業内容紹介棚卸し リーダ検査入院で WG 中止
12 月	12-12(木)開催 J-Mind 社 防災関連 IoT 等に関する活動紹介
1 月	メンバ企業 滑動内容予定
2 月	WG 開催 無し
3 月	WG 開催 無し

- 健康状態が危ぶまれていた上野リーダーがお亡くなりになってしまいました（1 月末）、ご冥福をお祈り致します。
- 本件、かち Create の勝村さんから連絡を受け、小職からマーケティング WG のメンバに情報を展開しました。本 WG は新たなリーダーを選出することは無理と考え、活動終了となりました。

2. TG2: 仮想 PoC

- リーダー 東芝デバイス&ストレージ社 二宮良次
メンバー: エステーケイテクノロジー株式会社、株式会社 図研、
東芝デバイス&ストレージ株式会社、株式会社 ソード
- 2024/下期 活動内容
 1. 月例会議の定例開催(毎月開催いただいています)
 2. STK 殿工場内・溶接機のモニタリング IoT ソリューションの構築
 3. 次の PoC 題材探し・センサ情報の収集と DB 化
 4. IoT 関連展博の情報交換の活動
3 月 は 3-13(木)PM 1 - 開催(最終回)
- 仮想 PoC 2024 年度 活動内容サマリ
 - (1)PoC 活動 (STK 様)
 - ・ 接機の稼働モニタリングシステムについて、実運用に向けた開発フェーズに入ったため My IoT コンソーシアムへ活動を移した。
 - ・ 次のテーマについてはヒアリング活動のみで具体的な活動まではいたらなかった。
 - (2)センサーの活用情報まとめ
 - ・ 各種センサーの仕様および、活用情報について、全 25 種類のセンサーを対象にまとめを行った。
 - (3)展示会情報共有
 - ・IoT の活用事例調査のため下記の展博の調査・報告をした。
 - ・ネプコンジャパン/スマート工場 Expo/スマート流通 Expo(東京ビックサイト 2025/1)
 - ・MEMS センシング & ネットワークシステム展(東京ビックサイト 2025/1)

3. TG3 : Edge-AI

- TG Leader 個人会員 吉森 崇 WG メンバー 総数 5 名
メンバー 株式会社ソード、株式会社プリバテック、株式会社図研、個人会員
- 本 WG は 2023 年度までは Edge-AI の外部講師による情報共有をメインにしていたが、2024 年からは主軸を Edge-AI の技術実習教育に移しました。
- 2024 上期 Edge-AI 実習コース 初回 終了 (6/7)
 - 出席者 3 名 (いずれもヌヴォトン様)



- 2024 下期 EPFC メンバを対象に Edge-AI 実習コースを再度開催する予定であったが以下の理由で開催断念
 - クラウド側の環境の変更に伴う技術内容の再整備
 - EPFC メンバで再募集(2024-9)したが応募が無かった
 - 開催場所・運営事務局などのリソース問題

4. WG4 : エナハ/電源/センサ

- TG Leader エイブリック 宮原康之
- 活動状況
2024 年度もエネハ関連新技術の情報共有を軸に、機会があればメンバでの共同作業なども検討する。
- 実績
4/9「ソニー電解型エナジーハーベストの紹介」 ソニーセミコンダクタソリューションズ
- 2024 下期からメンバも集まらず WG 活動は事実上停止している。

5. WG5: 宇宙 IoT

- リーダ ソニーセミコンダクター 太田 義則
参加メンバー: ソニーセミコンダクタソリューション、図研、日清紡マイクロデバイス、個人会員
- 2024 年度はメンバも集まらず WG 活動は事実上停止している。

6. EPFC WG 活動所感

- EPFC の活動は 2017 年度から活動構想の検討を経て活動開始しました。
- 2021 年には 10WG 70 名のメンバで活動が行われていた。
- WG の主な活動目的はカテゴリ的には以下の3種があったと認識しています。
 - IoT 関連情報収集・動向把握
 - なんらかの技術共同検討・開発
 - ビジネス推進の共同メンバの探査
- 大企業メンバは 1 を指向する WG メンバが多かったように思います。
- 中小企業については 2,3 を中心に WG 活動に参加されていたと認識。
- 1,2,3 のすべてを満たす EPFC 側のサポートは正直かなり難しかった。
- しかしながら総勢 70 名規模での各専門分野に分かれた WG 活動が 8 年の間継続されたことは参加各社にとって意義があったと考えます。

④ My-IoT との連携状況

- EPFC が開発したエッジプラットフォームについては 6 月末に停止済み。
- 会員向け代替プラットフォーム機能については、My-IoT コンソーシアムの母体会社である九大 TLO (株式会社産学連携機構九州)に開発を依頼し、7月より順次運用開始済み。
新プラットフォーム名称:N-My-IoT(Next My-IoT)
- 上記方針に伴い、My-IoT コンソーシアム及びかちクリエイイト殿の対応でエッジ側の N-My-IoT 接続対応 (S/W 修正)の対応を実施することで評価を行った。
- 来年度以降はニーズヒヤリングに基づき、個別に PoC システムの構築を行う。
- EPFC WG 活動の継承と新設
ワークグループ活動
・EPFC のワークグループ活動も一部引き継ぐ
ワークグループ活動案(検討中)
・文化財保護(元興寺など)
・観光 DX
・ケアデザイン
・デジタル & DX 教育
・近距離無線(SparkLink など)
* 連携コンソーシアム WG(センサー協議会、トリイオンノード研究会、Iflink 等)

⑤ SparkLink との提携活動

- Sparklink Japan Consortium 設立に向けた協力の覚書に基づいた支援継続
定例会議に出席して支援中(岡山、齋藤)、支援料として 220 万円で業務を受託(2025/3 まで)
第一期分(12/15) 業務委託料 176 万円
第二期分(3/15) 業務委託料 44 万円
- 活動報告書類一式(第一期分) 12/15 に納品
 - (1) マーケティング資料(SparkLink 紹介資料)、(SparkLink 開発キット版)
 - (2) 組織アーキテクチャ案 SparkLink Japan コンソーシアム設立企画書 Ver.1
SparkLink Japan コンソーシアム規約案 Ver.1
 - (3) SparkLink アプローチリスト(EPFC 担当分)
SparkLink Workshop 実施報告書 第一期分 EPFC 会員に紹介して、協力を要請
 - (4) SparkLink 要件書(ドラフト版)
- 活動報告書類一式(第二期分) 3/15 に納品予定
 - (1) SparkLink Japan コンソーシアム(仮称)ウェブサイト作成支援(sparklink.or.jp) 3 月末オープン
 - (2) Workshop 実施支援 第二期分 EPFC 会員に紹介して、協力を要請
 - (3) 実証実験の立上げ支援 スマートファクトリーにおけるデータ伝送技術要件まとめ
スパークリンク実験キットの立ち上げ
スパークリンク実証試験における試験環境計測(暗室と工場内)
 - (4) 組織アーキテクチャ案 SparkLink Japan コンソーシアム設立企画書 Ver.2(一般社団法人化)
SparkLink Japan コンソーシアム 定款 Ver.1

第二号議案 2024 年度決算報告書(案)、監査報告の承認の件

令和6年度

決 算 報 告 書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

目 次

- I 貸借対照表
- II 正味財産増減計算書
- III 財務諸表に対する注記
- IV 附属明細書
- V 財産目録

神奈川県横浜市旭区若葉台1-11-904
一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム

I 貸借対照表

令和7年6月6日現在

(単位:円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I 資産の部				
1.流動資産				
	現 金 預 金	0	303,405	-303,405
	売 掛 金	0	440,000	-440,000
	前 払 費 用	0	39,000	-39,000
	流動資産合計	0	782,405	-782,405
資産合計		0	782,405	-782,405
II 負債の部				
1.流動負債				
	未 払 金	0	195,543	-195,543
	前 受 金	0	0	0
	預 り 金	0	33,848	-33,848
	未 払 消 費 税	0	41,100	-41,100
	流動負債合計	0	270,491	-270,491
負債合計		0	270,491	-270,491
III 正味財産の部				
1.指定正味財産				
	指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産				
	一般正味財産合計	0	511,914	-511,914
正味財産合計		0	511,914	-511,914
負債及び正味財産合計		0	782,405	-782,405

Ⅱ 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
会費収入	[5,905,000]	[6,005,000]	[△ 100,000]
大企業	1,800,000	2,900,000	△ 1,100,000
中小企業	840,000	1,040,000	△ 200,000
ワーキンググループ	235,000	435,000	△ 200,000
推進普及部会	0	1,600,000	△ 1,600,000
特別会員	3,000,000	0	3,000,000
個人	30,000	30,000	0
事業収益	[66,000]	[45,000]	[21,000]
セミナーシンポジウム事業	66,000	45,000	21,000
新規事業	0	0	0
寄附金その他	[2,339,377]	[0]	[2,339,377]
広告収入	[0]	[22,000]	[△ 22,000]
受取利息	[958]	[24]	[934]
経常収益計	8,311,335	6,072,024	2,239,311
(2)経常費用			
管理費	[4,357,359]	[6,555,302]	[△ 2,197,943]
通信費	70,778	45,901	24,877
会場備品費	66,718	101,860	△ 35,142
支払手数料	24,510	9,500	15,010
業務委託費	2,772,000	4,950,000	△ 2,178,000
支払謝礼金	940,417	1,105,467	△ 165,050
事務用消耗品費	0	1,990	△ 1,990
登記費用	146,600	115,600	31,000
旅費交通費	47,836	26,584	21,252
会計監査費	247,500	198,000	49,500
租税公課	41,000	400	40,600
事業費	[1,745,950]	[2,090,439]	[-37,415]
通信費	0	0	0
会場備品費	0	104,100	△ 104,100
支払手数料	1,980	4,500	△ 2,520
業務委託費	0	0	0
支払謝礼金	0	44,274	△ 44,274
事務用消耗品費	0	0	0
旅費交通費	115,479	2,000	113,479
推進普及部	0	1,935,565	△ 1,935,565
クラウド運営費	1,628,491	0	1,628,491
経常費用計	6,103,309	8,645,741	-2,235,358
評価損益等調整前当期経常増減額	2,208,026	-2,573,717	4,781,743
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,208,026	-2,573,717	4,781,743
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前登記一般正味財産増減額	2,208,026	-2,573,717	4,781,743
法人税、住民税及び事業税	146	1	
当期一般正味財産増減額	2,207,880	-2,573,718	4,781,598
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	2,207,880	-2,573,718	4,781,598
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,207,880	-2,573,718	4,781,598

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1. 継続企業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

1. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし。

IV 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし。

2. 引当金の明細

該当なし。

V 財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物流数	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	0
		普通預金	運転資金として	303,405
	売掛金	みずほ銀行川崎支店	委託料	440,000
	前払費用	華為技術日本株式会社	登記用印紙	39,000
流動資産合計				782,405
資産合計				782,405
(流動負債)	未払金		役員報酬	190,533
			その他	5,010
	預り金		役員報酬源泉税	33,848
	未払消費税			41,100
流動負債合計				270,491
負債合計				270,491
正味財産				511,914

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム 御中

監 査 報 告 書

令和7年6月10日

監事 周藤 智



当職は、第6期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）における理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

第1 監査の方法及びその内容

当職は、理事等（元理事、現清算人を含みます。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

第2 監査の結果

1 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第三号議案 清算終了時決算報告書の承認の件

清算終了時決算報告書

1. 令和7年3月26日開催の臨時社員総会にて令和7年3月31日付で解散する事の承認を受けた。
代表清算人は速やかに法務局に解散登記手続きを実施した。
2. 代表清算人は、令和7年4月4日付官報にて、本法人の債権者に対し債権申出の催告を行うとともに、本法人のホームページにて債権申出の催告を行いました。
3. 代表清算人は、遅滞なく当社の現況を調査し、財産目録及び貸借対照表を作成し、令和6年度決算報告書を作成した。
資産合計：782,405円、未払金当負債合計：270,491円、売掛金：440,000円
結果として一般正味財産残高(残余財産総額)は511,914円となった。
4. 令和7年4月1日から令和7年6月6日までの期間内に債権の取立て、資産の処分その他の行為によって得た収入の額は、440,000円である。また、前記未払金 270,491円を支払った。
5. 債務の弁済、清算に係る費用の支払その他の行為による費用の額は、511,914円である。

(1) 残余財産総額 511,914円

(2) 清算に係る費用 511,914円

内訳	業務委託費	165,000 円
	会計監査費	198,000 円
	未払金支払い(前期交通費)	11,723 円
	消費税	39,200 円
	支払手数料	2,680 円
	租税公課(法務局登記、証明書発行)	10,840 円
	官報公告費	43,426 円
	通信費	5,980 円
	交通費	27,825 円
	会議室費	2,240 円
	Zoom 契約費	5,000 円

6. 現在の残余財産の額は0円である。

上記のとおり清算終了したことを報告する。

令和7年6月6日

一般社団法人 エッジプラットフォームコンソーシアム
代表清算人 齋藤 昇三

令和 7 年度

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 6 月 6 日

目 次

- I 貸借対照表
- II 正味財産増減計算書
- III 財務諸表に対する注記
- IV 附属明細書
- V 財産目録

神奈川県横浜市旭区若葉台 1-11-904

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム

I 貸借対照表

令和7年6月6日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	0	303,405	-303,405
売 掛 金	0	440,000	-440,000
前払費用	0	39,000	-39,000
流動資産合計	0	782,405	-782,405
資産合計	0	782,405	-782,405
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0	195,543	-195,543
前受金	0	0	0
預り金	0	33,848	-33,848
未払消費税	0	41,100	-41,100
流動負債合計	0	270,491	-270,491
負債合計	0	270,491	-270,491
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	0	511,914	-511,914
正味財産合計	0	511,914	-511,914
負債及び正味財産合計	0	782,405	-782,405

Ⅱ 正味財産増減計算書 令和7年4月1日から令和7年6月6日まで (単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
会費収入	[0]	[5,905,000]	[△ 5,905,000]
大企業		1,800,000	△ 1,800,000
中小企業		840,000	△ 840,000
ワーキンググループ		235,000	△ 235,000
推進普及部会		0	0
特別会員		3,000,000	△ 3,000,000
個人		30,000	△ 30,000
事業収益	[0]	[66,000]	[△ 66,000]
セミナーシンポジウム事業		66,000	△ 66,000
新規事業		0	0
寄附金その他	[0]	[2,339,377]	[△ 2,339,377]
広告収入	[0]	[0]	[0]
受取利息	[0]	[958]	[△ 958]
経常収益計	0	8,311,335	△ 8,311,335
(2)経常費用			
管理費	[499,971]	[4,357,359]	[△ 3,857,388]
通信費	5,980	70,778	△ 64,798
会場備品費	0	66,718	△ 66,718
会場整備費	7,240	0	7,240
支払手数料	2,460	24,510	△ 22,050
業務委託費	165,000	2,772,000	△ 2,607,000
支払謝礼金	0	940,417	△ 940,417
事務用消耗品費	0	0	0
登記費用	0	146,600	△ 146,600
旅費交通費	27,825	47,836	△ 20,011
会計監査費	198,000	247,500	△ 49,500
広告宣伝費	43,426	0	43,426
租税公課	50,040	41,000	9,040
事業費	[11,943]	[1,745,950]	[△ 1,734,007]
通信費	0	0	0
会場備品費	0	0	0
支払手数料	220	1,980	△ 1,760
業務委託費	0	0	0
支払謝礼金	0	0	0
事務用消耗品費	0	0	0
旅費交通費	11,723	115,479	△ 103,756
推進普及部	0	0	0
クラウド運営費	0	1,628,491	△ 1,628,491
経常費用計	511,914	6,103,309	-5,591,395
評価損益等調整前当期経常増減額	-511,914	2,208,026	-2,719,940
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-511,914	2,208,026	-2,719,940
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前登記一般正味財産増減額	-511,914	2,208,026	△ 2,719,940
法人税、住民税及び事業税	0	146	△ 146
当期一般正味財産増減額	-511,914	2,207,880	-2,719,794
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	-511,914	2,207,880	-2,719,794
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	-511,914	2,207,880	-2,719,794

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1. 継続企業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし。

IV 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし。

2. 引当金の明細

該当なし。

V 財産目録

令和7年6月6日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物流数	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	手元保管	運転資金として	0
		普通預金 みずほ銀行川崎支店		0
流動資産合計				0
資産合計				0
(流動負債)				
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				0

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム 御中

監 査 報 告 書

令和7年6月10日

監事 周藤 智



当職は、当法人の令和7年4月1日から令和7年6月6日までの清算事務年度に係る貸借対照表及びその附属明細書並びに清算結了報告書の監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

第1 監査の方法及びその内容

当職は、清算人に対する質問その他清算人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧、清算事務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法によって、貸借対照表及び清算結了報告並びにこれらの附属明細書について検討いたしました。

第2 監査意見

- 1 貸借対照表及びその附属明細書は、当法人の財産の状況をすべての重要な点において適正に示していると認めます。
- 2 清算結了報告は、法令又は定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 3 清算人の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

終

一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム

